様式第３号（第７条関係）

起業事業計画書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | 住所氏名生年月日 |  |

**１　起業する事業の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 社名・屋号 |  |
| 店舗等について | 所在地  |
| 事業の用に供する床面積 ㎡ |
| 主な初期投資経費 円 |
| 業　　種 |  |
| 取扱商品・サービス | 【特産品活用の有無】 | □あり | □なし |
| ※活用ありの場合はその内容も含めて記入　　 |
|  |
| 事業開始（予定）日 | 令和 　年 　月 日 |
| 事業に必要な許認可等の名称及び取得（予定）日 |  |
| 起業までのスケジュール |  |
| 起業する目的・動機 |  |
| この事業の経験の有無（過去の勤務先、経験年数、資格等） |  |

**２　特産品の活用（※特産振興助成金を申請している方のみ記入）**

|  |  |
| --- | --- |
| 特産品の取扱割合 | 特産品活用品目の数：全　　　　　　　品目中　　　　　　　品目特産品を取り扱う割合：　　　　　　　％ |
| 特産品を使用した具体的な商品・サービス |  |

**３　予定の販売先、仕入先（丹波篠山産の資材、材料の使用及び市内事業者との取引予定）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 販売先 | 仕入先 |
| 丹波篠山市内 |  | ※特産品活用ありの場合は、生産者との関り方についても記入 |
| 丹波篠山市外 |  |  |

**４　マーケティング分析**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業のセールスポイント |  |
| 想定する顧客層、消費者ニーズ等 |  |
| 消費者へのアプローチ（広報手段・宣伝計画・集客方法等） |  |
| 特産品活用商品のアピール手法 | ※特産品活用ありの場合に記入 |
| 特産品活用商品の優位性（市内競合他店との比較、商品の強みや新規性等） | ※特産品活用ありの場合に記入 |

**５　必要な資金と調達の方法**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 必　要　な　資　金 | 金　額 | 調　達　の　方　法 | 金　額 |
| 設　　備　　資　　金 | （助成金対象経費） |  | 自己資金借入金市助成金（Ｂ）起業地助成金※ 左表(A)の30%以内の額（Ｃ）空き家空き店舗活用助成金※ 左表(A)の30%以内の額（D）若者定住助成金※ 左表(A)の30%以内の額（E）特産振興助成金※ 左表(A)の30%以内の額（F）宿泊事業振興助成金※ 左表(A)の30%以内の額注）(B)から(F)の合計が、丹波篠山市起業支援助成金交付申請書中の助成申請額の合計と一致すること。 |  |
| 計（Ａ） |  |
| （助成金対象外経費） |  |
| 計 |  |
| 運　転　資　金 |  |  |
| 計 |  |
| 合　　　計 |  | 合　　　計 |  |

**６　事業実施体制（従業員等）※事業主を含まない人数で記入してください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ○起業時 | 　　　　　人※申請人を除く | 内訳：家族従業員　　　　　　　　　　　　　　　　　人家族以外　正規従業員　　　　　　　　　　　人非正規従業員　　　　　　　　　　　人役　　　員（法人の場合）　　　　　　　　　　　　　人 |
| ○１年後計画 | 　　　　　人※申請人を除く | 内訳：家族従業員　　　　　　　　　　　　　　　　　人家族以外　正規従業員　　　　　　　　　　　人非正規従業員　　　　　　　　　　　人役　　　員（法人の場合）　　　　　　　　　　　　　人 |

**７　起業の状態（☑を入れてください。）**

（1） □　事業主の居住地が起業地である。

□　事業主の居住地と起業地は別である。

（2） □　事業主とその家族(単身の場合は事業主のみ)が市内に居住する。

※市内在住の場合、引続き居住する。

□　事業主は市内に居住し、その家族は市外に居住する。

□　事業主が市内に居住しない。

**８　空き家・空き店舗の活用について**　**（※空き家・空き店舗助成金を申請している方のみ記入）**

|  |  |
| --- | --- |
| 活用の種類（☑を入れてください。） | □ 空き家を活用した起業である。（空き家登録番号　　　　　　　）□ 空き店舗を活用した起業である。【定住促進重点促進地区】 |
| 活用前の空き家・空き店舗の状況について | ・空き家・空き店舗期間（空き家６か月以上・空き店舗３か月以上）・空き家・空き店舗の工事前の状況・空き家・空き店舗で起業する理由 |

**９　定住状況や動機について**　**（※若者定住助成金を申請している方のみ記入）**

1. 起業地と居住地について　　　　　　　　　　　（２） 定住者について

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 起業地と居住地が定住促進重点地区内である。 | □ | 事業主が４０歳以下である。 |
| □ | 起業地のみ定住促進重点地区内である。 | □ | 事業主が４０歳以上で、４０歳以下の配偶者又は中学生以下の親族がいる。 |
| □ | どちらも定住促進重点地区外である。 |  |
| 丹波篠山市を起業・定住地に選んだ理由 |  |

**１０　開業後の見通し（月平均）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 開業当初 | 軌道に乗った後（　　年　　月頃） | 売上高、売上原価（仕入高）、経費を計算された根拠を記入すること。 |
| 売　上　高　A |  |  | ＜開業当初＞ |
| 売上原価（仕入高）B |  |  |
| 経　　　　費 | 人件費 |  |  |
| 家　賃 |  |  |
| 減価償却費 |  |  |
| その他経費 |  |  |
| 支払利息 |  |  | ＜軌道に乗った後＞ |
| 合　計　C |  |  |
| 利　　益A　-　B　–　C |  |  |
| 将来計画（販売計画、事業展開、雇用計画等） |  |